


佐伯市学力定着状況調査 結果総括

令和4年2月
佐伯市教育委員会

【用語解説】

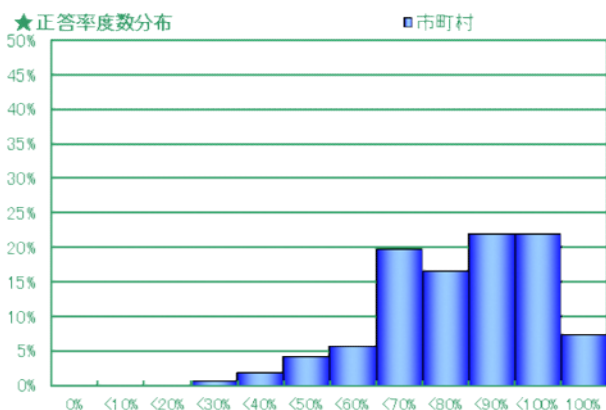
◇目標値…学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合。

◇正答率…個々の設問について用いる場合は、その設問に正答した児童生徒の割合。
※教科総合・領域・観点などにおけるクラス・学年などの集団データとして用いる場合は、対象となる全設問におけるその集団の正答率の平均値。

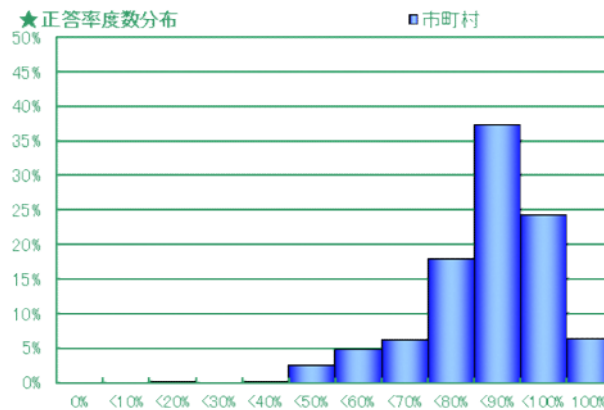
※各学年ごとの結果総括において、目標値及び全国平均を超えた佐伯市の数値には  を施しています。

＜小学校1年＞

国語



算数

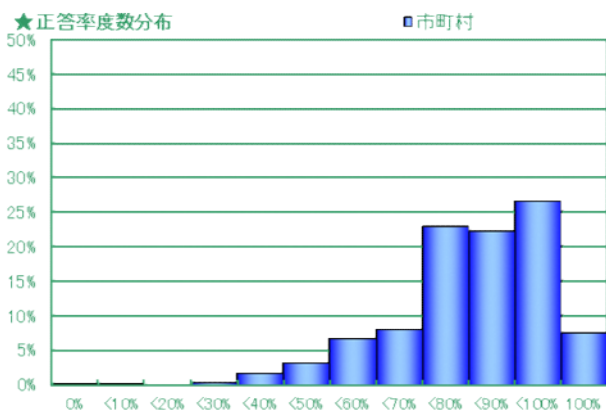


国語・・・60%台の層及び80～90%台の層が多くでこぼこした分布である。30%未満の層は少ない。

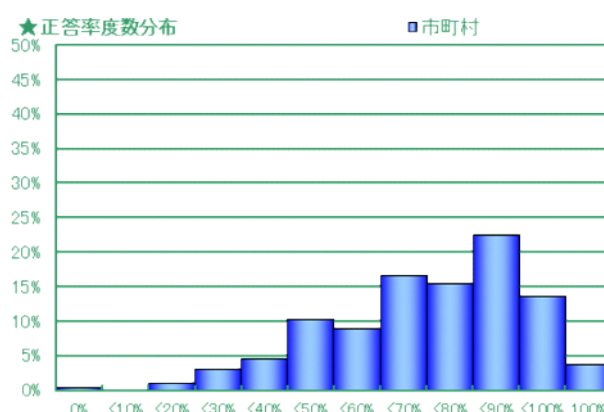
算数・・・80%台の層が全体の突出し、40%未満の層はほとんど見られない。良好な分布となっている。

＜小学校2年＞

国語



算数

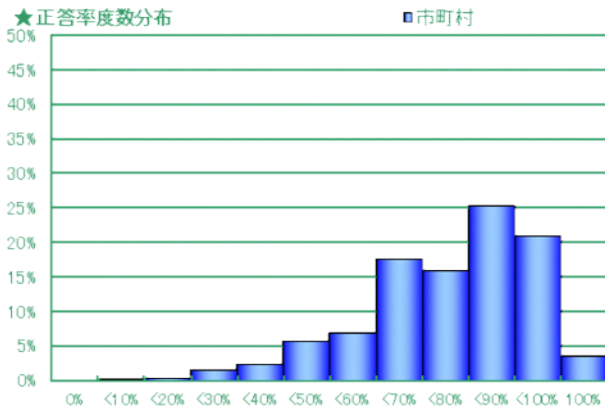


国語・・・70～90%台の中上位層が多くなっている。また、30%未満の層が少ない分布である。

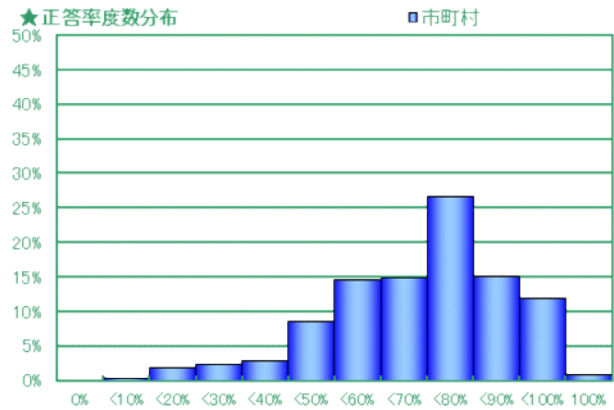
算数・・・80%台の層が最も多くなっているが、全体的にでこぼこした分布になっている。30%未満の下位層が一定程度見られる。

<小学校3年>

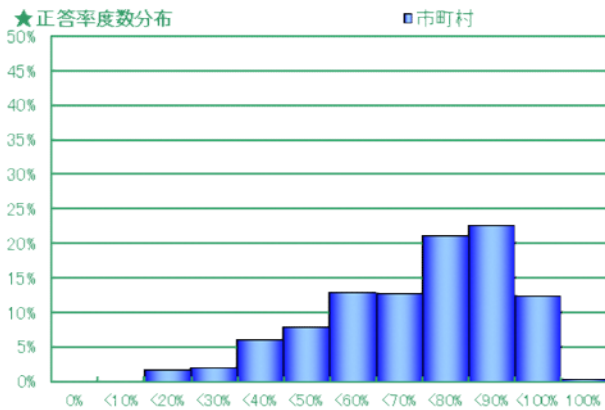
国語



算数



理科



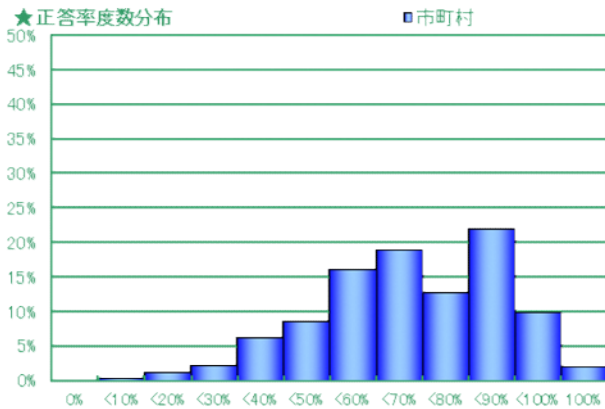
国語・・・80%台の層が最も多くなっているが、全体的にでこぼこした分布になっている。30%未満の下位層は少ない。

算数・・・70%台が最も多くなり、次いでその前後の層が多く見られる分布である。30%未満の下位層が一定程度見られる。

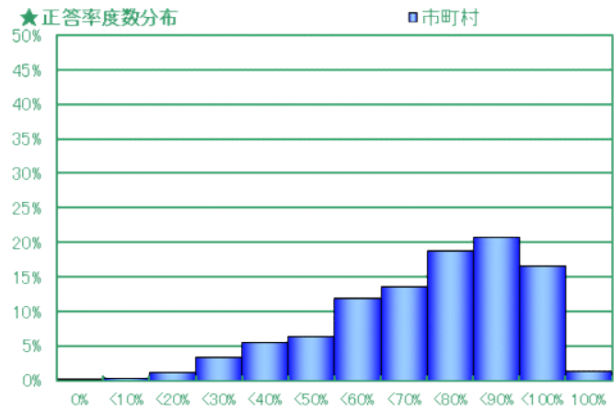
理科・・・80%以上の層が多く見られる一方、30%未満の下位層が一定程度見られる。

<小学校4年>

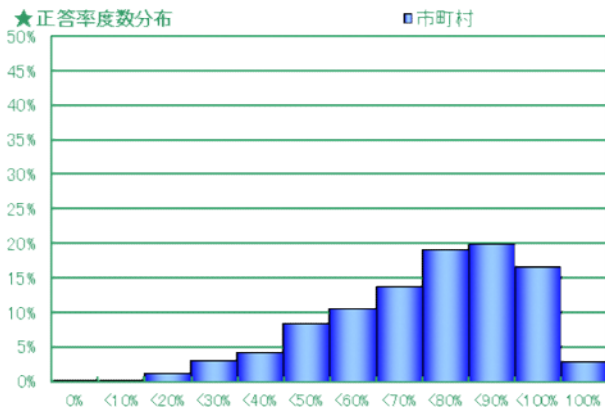
国語



算数



理科



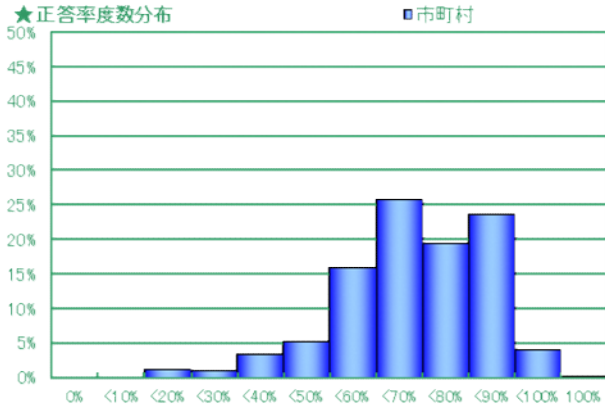
国語・・・全体的にでこぼこした分布になっている。30%以下の下位層が一定程度見られる。

算数・・・上位層が少ないなだらかな分布である。30%未満の下位層が多くなっている。

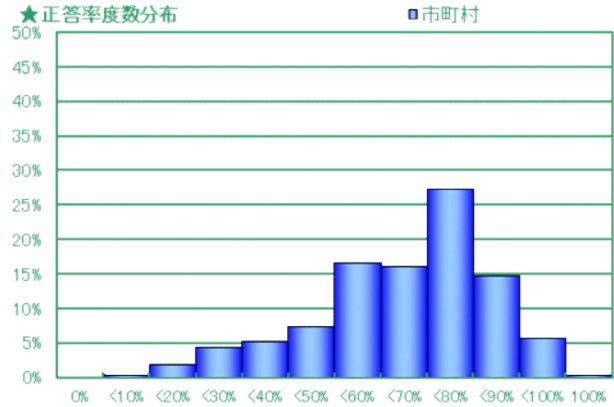
理科・・・上位層が少ないなだらかな分布である。30%未満の下位層が一定程度見られる。

<小学校5年>

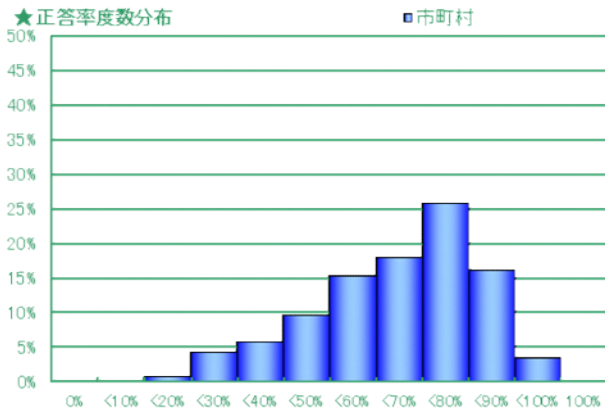
国語



算数



理科



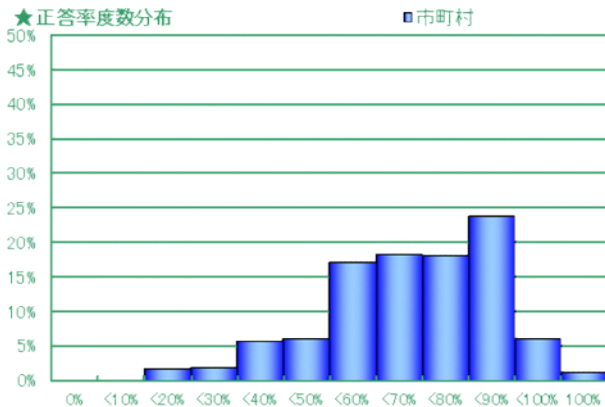
国語・・・60%台が最も多く、次いで70%台の層が多いでこぼこした分布である。

算数・・・70%台の層が最も多く、次いで中位層も多く見られる。30%未満の下位層が一定程度見られる。

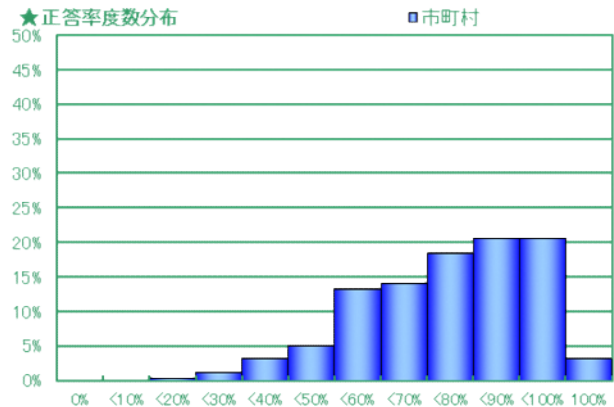
理科・・・70%台の層が最も多く、次いで中位層も多く見られる。30%未満の下位層が一定程度見られる。

<小学校6年>

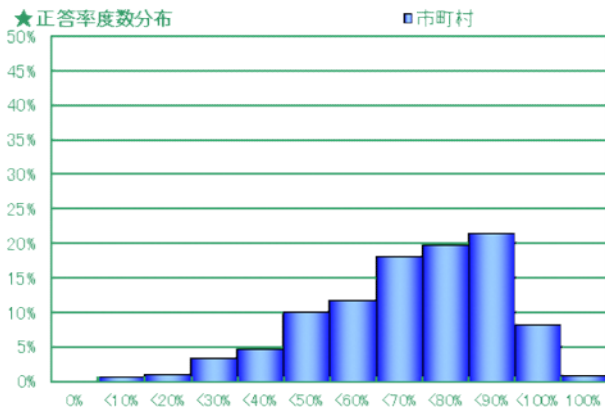
国語



算数



理科



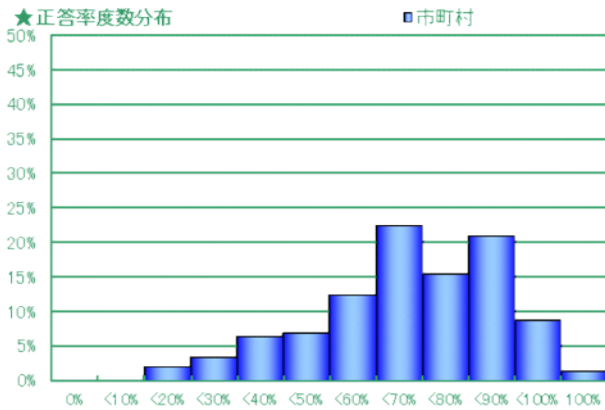
国語・・・80%台の層が最も多く、次いで50%台、60%台、70%台の層が同じぐらいの割合で見られる。

算数・・・60%台の中位層から徐々に割合が高くなり、80%台の層が最も多く見られる。30%未満の下位層も一定程度見られる。

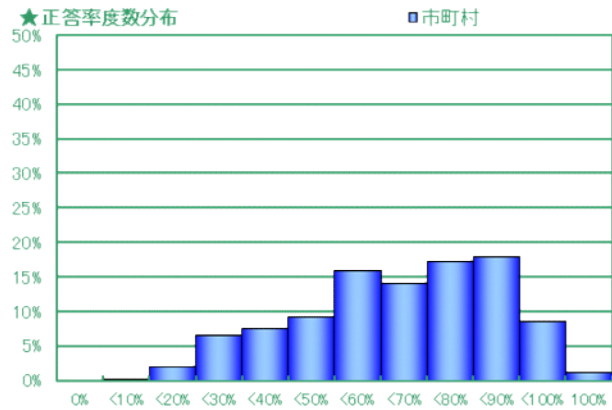
理科・・・60%台の中位層から徐々に割合が高くなり、80%台の層が最も多く見られる。30%未満の下位層も一定程度見られる。

<中学校1年>

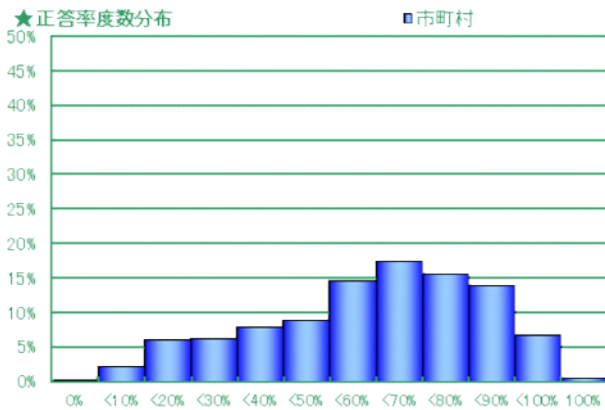
国語



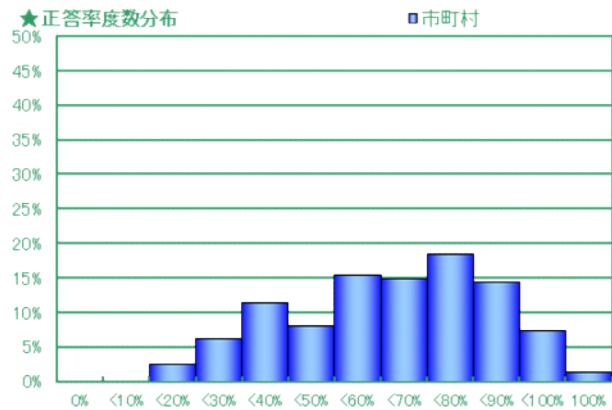
社会



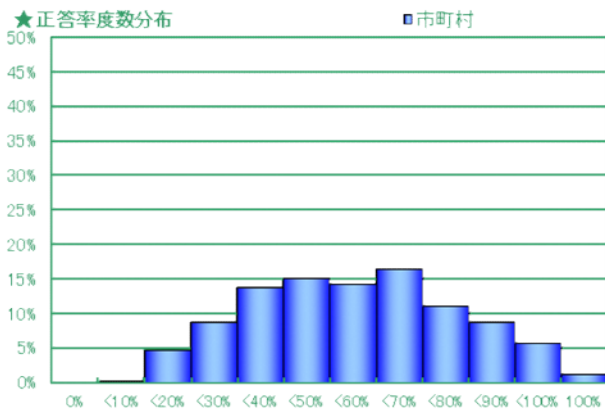
数学



理科



英語



国語・・・60%台と80%台の層が多く見られるでこぼことした分布である。30%以下の下位層が一定程度見られる。

社会・・・70%台、80%台の層が多い全体的になだらかな分布になっている。30%未満の下位層が多くなっている。

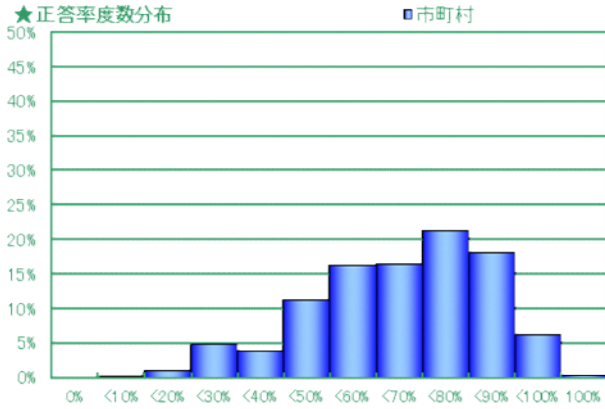
数学・・・60%台の層が多い全体的になだらかな分布になっている。30%未満の下位層が多くなっている。

理科・・・30%台、70%台の層が多いでこぼことした分布になっている。30%未満の下位層が多くなっている。

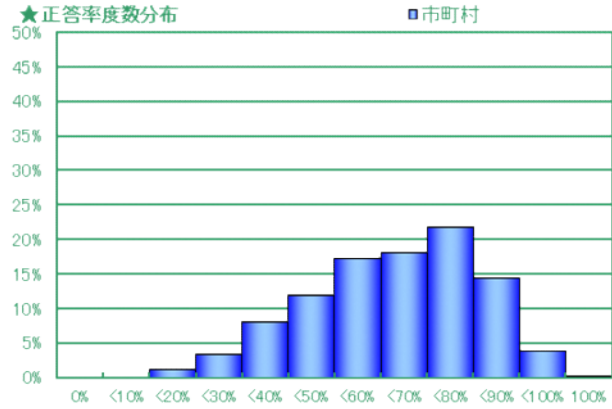
英語・・・60%台が最も多く、上位層が少ない分布になっている。30%未満の下位層が多くなっている。

＜中学校2年＞

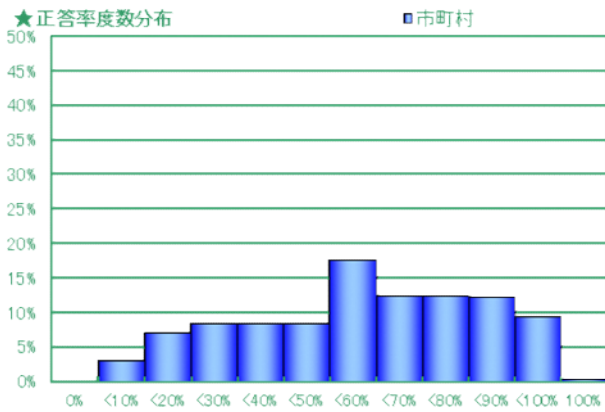
国語



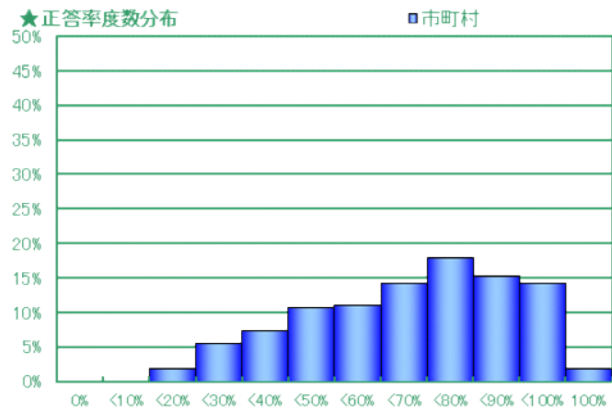
社会



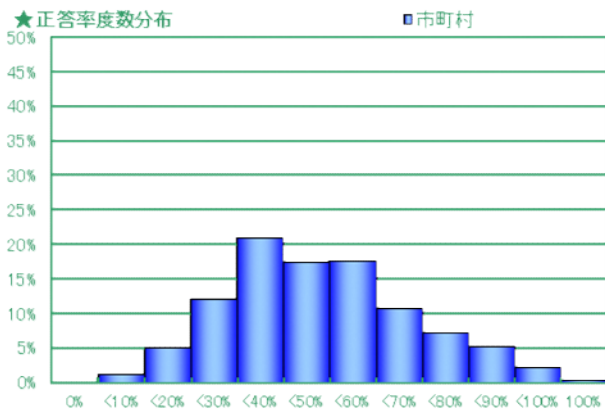
数学



理科



英語



国語・・・70%台の層が最も多く、次いで80%台の上位層、60%台の中位層が多く見られる。30%以下の下位層が一定程度見られる。

社会・・・70%台の層が最も多く、次いで60%台、70%台の中位層が多く見られる。30%未満の下位層が一定程度見られる。

数学・・・50%台の層が最も多くなっているが、広く一定程度の分布が見られる。30%未満の下位層が多くなっている。

理科・・・70%台の層が最も多くなっているが全体的になだらかな分布になっている。30%未満の下位層が多くなっている。

英語・・・30%台の層が最も多く、下位層に寄った分布になっている。30%未満の下位層も多くなっている。

令和3年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校1年＞

国語				問題の内容別正答率					
教科の正答率	全体	78.0	74.3		75.9		佐伯市	目標値	全国平均
	基礎	84.8	82.3		84.6	はなしをききとる	77.0	80.0	76.6
	活用	65.2	59.4		59.5	かん字をよむ	96.0	90.0	95.2
領域別正答率	言葉の特徴や使い方	90.7	86.9		92.2	ことばの学しゅう	85.6	84.2	87.8
	情報の扱い方	69.8	65.0		65.1	ものがたりをよみとる	71.6	68.3	70.5
	話すこと・聞くこと	67.2	68.0		66.5	せつめい文をよみとる	63.5	60.0	60.2
	書くこと	83.4	70.0		69.5	きいたことをもとにほんをよむ	52.4	50.0	51.4
	読むこと	67.5	64.2		65.4	文しようをかく	83.4	70.0	69.5

＜結果概況＞
 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。
 ○領域別正答率は「言葉の特徴や使い方」のみ全国平均を下回った。他の領域は全て上回った。
＜課題と対策＞
 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「ことばの学しゅう」で、全国平均を下回った。正しい助詞の表記について理解を深めるために、文字を書く問題を繰り返し行う必要がある。
 また、身近なことを表す語句の量を増やすために、日常生活とつなげることや読書活動などと関連させて語彙を豊かにする必要がある。

算数				問題の内容別正答率					
教科の正答率	全体	82.9	78.8		80.3		佐伯市	目標値	全国平均
	基礎	89.8	85.5		87.3	20までのかず	87.4	85.0	85.8
	活用	53.3	50.0		50.2	たしざん	84.7	80.0	81.5
領域別正答率	数と計算	82.6	78.8		80.1	ひきざん	73.7	70.5	71.3
	図形	73.2	68.3		72.2	3つのかずのけいざん	92.0	86.3	89.0
	測定	92.3	86.3		87.6	かたち	73.2	68.3	72.2
						ながさ・かさ	96.1	90.0	93.8
						なんじなんじはん	88.4	82.5	81.4

＜結果概況＞
 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。
 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。
＜課題と対策＞
 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、全ての内容で全国平均を上回った。しかし、「必要な要素を選び、適切な文章問題をつくる問題」は、無解答率が比較的高かった(11.0%)。また、「示された日記の内容から、文章問題を解くため立式する問題」正答率が32.6%と低くなった。児童の生活と関連させた授業を行う中で、問題場面(文章)から必要な情報を取り出し立式する力、式や絵などの与えられた情報から作問して表現する力を育成する機会を設定する必要がある。

令和3年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校2年＞

国語				問題の内容別正答率					
教科の正答率	全体	79.9	76.9		81.9		佐伯市	目標値	全国平均
	基礎	85.9	83.0		87.8	話を聞き取る	76.0	80.0	79.0
	活用	70.1	66.7		72.0	漢字を読む	90.9	90.0	95.2
領域別正答率	言葉の特徴や使い方	90.7	87.2		93.4	漢字を書く	92.4	88.3	94.7
	情報の扱い方	78.9	72.5		81.4	言葉の学習	89.2	82.5	90.9
	話すこと・聞くこと	76.0	80.0		79.0	物語を読み取る	74.0	73.3	75.9
	書くこと	69.5	63.0		69.0	説明文を読み取る	71.5	68.3	74.1
	読むこと	72.7	70.8		75.0	お話を考える	45.3	45.0	51.3
						文章を書く	85.5	75.0	80.9

＜結果概況＞
 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。
 ○領域別正答率は、「書くこと」以外の領域において全国平均を下回った。
＜課題と対策＞
 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「お話を考える」で正答率に6ポイントの差がある。物語文のあらすじをつかむこと、条件にあった場面を考えると、そして、それらを文にするといった言語活動を位置付けた指導が必要である。さらに、11.8%の児童が無解答であったことから、国語科だけでなく、生活科や日常の活動のなかで表現活動を行い、文を書く活動と関連させていくことが必要である。

算数				問題の内容別正答率						
教科の正答率	全体	69.3	70.9		72.3		佐伯市	目標値	全国平均	
	基礎	75.1	76.5		77.8	1000までの数	81.5	81.4	83.7	
	活用	49.8	51.9		53.7	たし算	68.8	70.0	72.8	
領域別正答率	数と計算	74.0	75.8		77.9	ひき算	66.4	70.7	73.1	
	測定	57.5	58.5		58.2	かけ算	80.7	82.0	82.8	
						長さ・かさ	58.1	57.9	56.8	
						時刻と時間	56.1	60.0	61.5	

＜結果概況＞
 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。
 ○領域別正答率は、「数と計算」「測定」の領域ともに全国平均を下回った。
＜課題と対策＞
 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「ひき算」の問題で正答率に6.7ポイントの差がある。「繰り下がりが2回」、「波及的繰り下がりが」の問題を解いたり、文章問題から図に表し立式する活動を繰り返したりする等、日常授業とつなげた練習問題での習熟が必要になる。また、「公園に到着する時刻とかかる時間から起きる時刻を求める問題」は正答率が29.0%、「高さの異なる積み木を使った塔の高さを説明する問題」は無解答率が19.0%と課題が残った。具体的生活場面と関連させ時刻・時間の理解につなぐたり、操作活動と順序立てた説明を結び付けたりする数学的活動の場を設定する必要がある。

令和3年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校3年＞

国語				佐伯市	目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均
教科 の 正 答 率	全体	75.1	72.0	75.6	問題 の 内 容 別 正 答 率	話し合いの内よ うを聞き取る	82.7	78.3	82.2	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎が全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、「情報の扱い方」「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、全国平均を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、3つの内容で、全国平均を下回った。「漢字を読む」「漢字を書く」「言葉の学習」については、学習したことを定着させるために反復練習等を、意図的・計画的に設定する必要がある。 「メモをもとに文章を書く」では、全国平均を上回っているが、16.5%が無解答である。与えられた条件(メモの言葉を使う、一文で書く等)に沿って書くことを位置付けた言語活動を意図的に、計画的に行っていく必要がある。</p>			
	基礎	78.3	76.5	79.4		漢字を読む	89.4	83.3	90.6				
	活用	68.1	62.5	67.5		漢字を書く	87.0	86.7	88.1				
領域 別 正 答 率	言葉の特徴や使い方	78.2	75.5	79.8		言葉の学習	66.0	63.8	68.8				
	情報の扱い方	67.0	62.5	64.5		物語の内よ うを読み取る	74.9	75.0	74.6				
	話すこと・聞くこと	82.7	78.3	82.2		せつ明文の内 よ う を 読 み 取 る	80.0	78.3	79.8				
	書くこと	61.8	56.7	61.3		メモをもとに文 章を書く	45.7	47.5	45.0				
	読むこと	77.5	76.7	77.2		文章を書く	69.8	61.3	69.5				

算数				佐伯市	目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均
教科 の 正 答 率	全体	68.1	66.9	68.9	問題 の 内 容 別 正 答 率	1000より大きい数	81.6	76.3	79.1	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、「数と計算」のみ、全国平均を上回った。他の2つの領域は、全国平均を下回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、7つの内容のうち5つの内容で、全国平均を下回った。全ての内容において、学習したことを定着させるための機会を、意図的・計画的に設定する必要があるが、特に、「ある時刻から一定時間前の時刻を求める」問題は、正答率が25.5%と低くなった。具体的場面から、時刻と時間の関係を理解させる活動を繰り返す必要がある。 また、「余りのある除法の答えの確かめ方を説明する」問題は、無解答率が25.7%と高くなった。説明の手順を見出し、方法を体得させるための機会や問題に触れる授業や家庭学習を充実させる必要がある。</p>			
	基礎	76.2	74.5	76.5		たし算・ひき算	78.0	80.0	80.1				
	活用	55.2	54.6	56.7		かけ算	64.9	65.0	65.7				
領域 別 正 答 率	数と計算	67.5	66.2	67.1		わり算	60.8	59.4	59.8				
	図形	67.7	68.3	69.9		円と球	67.7	68.3	69.9				
	測定	69.5	68.0	72.5		長さ・重さ	68.7	66.7	71.8				
						時ごとと時間	70.6	70.0	73.7				

理科				佐伯市	目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均
教科 の 正 答 率	全体	67.4	66.7	69.0	問題 の 内 容 別 正 答 率	身近なしぜんのかんさつ	68.3	66.3	69.2	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を下回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、「こん虫の育ち方」以外は全ての内容で、全国平均を下回った。 「木陰の方が涼しい理由を記述する」問題、「実験の結果から見出した問題を確かめるための実験を構想する」問題は、目標値と正答率との差が大きくなった(どちらも5ポイント以上の差)。観察や実験等の活動を児童とともに考え、児童の生活とも関連させながら実感を伴う理解へとつなぐ指導の工夫が必要になる。 また、自然事象について調べ観察する中で、事象が起こる理由を整理したり、話し合ったりするような学習を充実させる必要がある。</p>			
	基礎	72.3	70.5	73.3		植物の育ち方	78.6	75.0	80.2				
	活用	56.0	57.8	59.0		こん虫の育ち方	66.7	63.8	65.5				
領域 別 正 答 率	物質・エネルギー	59.8	61.4	62.8		こん虫のからだのつくり	56.6	58.3	59.1				
	生命・地球	69.7	68.3	70.9		太陽と地面のようす	72.5	71.9	74.3				
						光のせいしつ	49.8	51.7	52.1				
						風やゴムのはたらき	67.3	68.8	70.9				

令和3年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校4年＞

国語				佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。 ○領域別正答率は全ての領域で、全国平均を下回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「話し合いの内容を聞き取る」で、正答率に4.4ポイントの差があった。話し合い活動の進め方や司会の役割への理解を深め、一人一人が司会などの役割を経験させることができる言語活動を位置付けていきたい。 また、「メモを取りながら話し合う」内容では、無解答率が21.1%であった。2人の意見の共通点や相違点に着目して、自分の考えをまとめることができていなかった。話題にそって自分の考えを話すこと、共通点や相違点をメモしながら話し合うといった言語活動を意図的、計画的に行い、考えを話す、話したことを文章にするといった学習を積み重ねたい。
教科の正答率	全体	67.0	67.5	69.3	問題の内容別正答率	話し合いの内容を聞き取る	65.8	71.7	70.2		
	基礎	69.6	70.9	71.8		漢字を読む	79.5	80.0	82.7		
	活用	62.1	61.1	64.7		漢字を書く	67.9	68.3	69.6		
領域別正答率	言葉の特徴や使い方	72.1	71.0	74.0		言葉の学習	76.4	74.0	77.7		
	情報の扱い方	61.4	63.3	64.4		物語の内容を読み取る	71.7	70.0	72.5		
	我が国の言語文化	85.5	85.0	86.2		説明文の内容を読み取る	60.5	63.3	61.7		
	話こと・聞くこと	58.5	63.0	63.4		メモを取りながら話し合う	47.6	50.0	53.2		
	書くこと	57.2	56.3	59.6		文章を書く	57.2	56.3	59.6		
	読むこと	66.1	66.7	67.1							

算数				佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎は全国平均を上回り、活用は全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、「図形」で全国平均を下回ったが、他の領域では全国平均を上回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると「垂直・平行と四角形」が2.6ポイント下回ったのみで、他の内容では、全国平均を上回っており、学習の成果が出たといえる。しかし、「問題の答えがひし形になるようにヒントを出す」問題は、正答率が23.3%、無解答率が18.3%と課題が残った。図形を構成する要素や特徴を理解させ、そのことを言語化する活動を仕組んでいく必要がある。 また、「小数を用いて重さの単位換算をする」問題も正答率が24.3%と低かった。単位換算の問題は例年正答率が低い傾向にある。kgをgにする場合など、単位同士の関係を図を使うなどして視覚的に表し理解させていく必要がある。
教科の正答率	全体	69.8	65.5	67.3	問題の内容別正答率	億と兆・概数の表し方	83.7	75.0	76.4		
	基礎	75.0	70.0	71.2		わり算	66.9	60.8	64.0		
	活用	58.5	55.5	58.6		小数	58.4	57.5	57.6		
領域別正答率	数と計算	72.2	66.4	68.6		計算のきまり	77.2	70.0	72.4		
	図形	63.5	63.1	64.3		垂直・平行と四角形	57.3	59.0	60.7		
	変化と関係	75.3	70.0	74.3		角の大きさ	73.9	70.0	70.4		
	データの活用	69.3	65.0	64.7		簡単な場合についての割合	75.3	70.0	74.3		
						折れ線グラフ	69.3	65.0	64.7		

理科				佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を下回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、全ての内容で全国平均を下回った。「雨水の行方と地面の様子」の内容は、全国平均を8.1ポイント下回った。その中でも「実験方法の誤りを指摘する」問題は、正答率が39.3%と低く、無解答率は19.6%と高くなった。絵や図の中から必要な情報を取り出し解決に向かう学習を積み重ねる必要がある。 また、「水のしみこみ方がどう生かされているかを知り、記述する」問題も無解答率が18.0%と高かった。事象とその理由を実験・観察と結びつけて説明する(表現する)学習活動を工夫する必要がある。
教科の正答率	全体	69.1	68.0	71.9	問題の内容別正答率	1年間の植物の成長	93.3	85.0	93.5		
	基礎	74.8	73.3	76.4		1年間の動物の様子	70.6	72.5	72.8		
	活用	55.9	55.6	61.5		天気の様子と気温	67.4	63.3	71.1		
領域別正答率	物質・エネルギー	63.1	64.1	65.9		電気のはたらき	64.7	63.8	65.9		
	生命・地球	72.6	70.3	75.4		動物の体のつくりと運動	81.9	80.0	82.4		
						月と星	72.2	71.0	74.6		
						物の体積と力	60.4	62.5	64.1		
						物の体積と温度	64.8	66.7	68.4		
						雨水の行方と地面の様子	49.6	50.0	57.7		

令和3年度佐伯市学力定着状況調査結果総括〈中学校1年〉

国語				佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	〈結果概況〉 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。
教科の正答率	全体	66.6	58.5	61.4	問題の内容別正答率	話し合いの内容を聞き取る	71.0	61.7	66.8	〈課題と対策〉 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、全ての内容で全国平均を上回った。 「小学校で学習した漢字を正しく書く」問題と「根拠を明確にしながらか自分の考えを文章にする」問題の無解答率が高かった(27.2%・15.4%)。小学校で学習した漢字の復習と書く活動を繰り返し行い、定着につなげることが必要になる。 また、計画的に情報と情報の関係について理解をして文章の構成を考えたり、根拠を明らかにしながら自分の考えが伝わるように文章を書く活動の充実を図る必要がある。	
	基礎	69.8	60.9	63.9		漢字を読む	88.3	83.3	87.6		
	活用	60.6	53.9	56.8		漢字を書く	48.7	41.7	42.9		
領域別正答率	話すこと・聞くこと	71.0	61.7	67.8	文法・語句に関する知識	69.7	57.5	61.4	〈結果概況〉 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。		
	書くこと	63.5	55.7	57.6	説明文の内容を読み取る	61.2	51.7	51.9		〈課題と対策〉 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、すべての内容で全国平均を上回った。問題別では「ローマ帝国の政治制度についての理解をもとに、複数の資料に着目して考察する」問題で全国の正答率を8.5ポイント下回った。授業の中で、複数の資料から情報を取り出し、関連付けて問題を見つけたり、その解決に向けて考えたり表現したりする場面を意図的に設定する必要がある。 また、「聖徳太子の政治」の内容に関わる資料を選択する問題で、全国の正答率を5.7ポイント下回った。歴史分野の学習において、生徒自身が資料から内容を読み取ったり、年表にまとめたりする学習活動を取り入れていく必要がある。	
	読むこと	64.0	56.7	59.4	文学作品の内容を読み取る	66.7	61.7	66.9			
	伝統的な言語文化	71.0	55.0	59.0	報告文を書く	54.1	51.7	54.0			
					文章を書く	70.6	58.8	60.3			

社会				佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	〈結果概況〉 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。
教科の正答率	全体	62.0	57.0	57.3	問題の内容別正答率	世界の姿	66.6	60.0	60.5	〈課題と対策〉 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、すべての内容で全国平均を上回った。問題別では「ローマ帝国の政治制度についての理解をもとに、複数の資料に着目して考察する」問題で全国の正答率を8.5ポイント下回った。授業の中で、複数の資料から情報を取り出し、関連付けて問題を見つけたり、その解決に向けて考えたり表現したりする場面を意図的に設定する必要がある。 また、「聖徳太子の政治」の内容に関わる資料を選択する問題で、全国の正答率を5.7ポイント下回った。歴史分野の学習において、生徒自身が資料から内容を読み取ったり、年表にまとめたりする学習活動を取り入れていく必要がある。	
	基礎	65.5	59.5	60.4		日本の姿	59.3	56.7	58.6		
	活用	53.8	51.1	50.1		世界各地の人々の生活と環境	63.8	58.8	60.2		
領域別正答率	地理	65.3	60.0	61.3	世界の諸地域	69.1	63.0	64.4	〈結果概況〉 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。		
	歴史	58.1	53.6	52.8	古墳時代まで	59.8	55.0	54.8		〈課題と対策〉 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、すべての内容で全国平均を上回った。問題別では「文字を使った式に表し、数学的に説明する」問題で目標値を9.2ポイント下回った。途中の計算も含めて回答する練習を授業に取り入れる必要がある。 また、「比例の関係を使って、カードの重さから面積を求める」問題で目標値を13ポイント下回った。事柄が成り立つ理由を、根拠を明確にして数学的な表現を用いて説明するような学習場面や、比例・反比例の法則性を用いて身の回りの問題を解決するような学習場面を意図的に設定する必要がある。	
					飛鳥時代～平安時代	56.4	52.1	50.8			

数学				佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	〈結果概況〉 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。
教科の正答率	全体	58.8	58.2	54.6	問題の内容別正答率	正の数・負の数	75.1	69.3	69.3	〈課題と対策〉 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、すべての内容で全国平均を上回った。問題別では「文字を使った式に表し、数学的に説明する」問題で目標値を9.2ポイント下回った。途中の計算も含めて回答する練習を授業に取り入れる必要がある。 また、「比例の関係を使って、カードの重さから面積を求める」問題で目標値を13ポイント下回った。事柄が成り立つ理由を、根拠を明確にして数学的な表現を用いて説明するような学習場面や、比例・反比例の法則性を用いて身の回りの問題を解決するような学習場面を意図的に設定する必要がある。	
	知識	65.1	64.3	60.9		文字式	40.7	48.0	33.8		
	活用	43.1	43.1	38.9		1次方程式	59.7	60.8	57.4		
領域別正答率	数と式	60.4	60.6	55.5	比例・反比例	55.9	54.0	53.0	〈結果概況〉 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。		
	関数	55.9	54.0	53.0							

理科				佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	〈結果概況〉 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。
教科の正答率	全体	61.9	58.0	58.4	問題の内容別正答率	植物の分類	67.3	58.3	59.7	〈課題と対策〉 ○問題の内容別に見ると、7つの内容のうち5つは目標値、全国平均値を上回ったが、「物質の状態変化」と「光の性質」については、目標値を上回ることができなかった。特に、「光の屈折を利用している道具を指摘する」問題の正答率が低く、光の直進・反射・屈折という現象と実際に利用している道具との関連についての理解が今一歩だった。また、金メダルが金だけでできていない理由を説明する記述問題も目標値を下回っていた。 実験結果をもとにした考察から実際の現象を説明したりする活動を行うことや、理科で学んだことが日常生活や社会でどのように活用されているか等について扱う指導の充実を図る必要がある。	
	基礎	66.3	62.9	62.7		動物の分類	70.1	65.0	67.7		
	活用	52.7	47.8	49.1		身の回りの物質とその性質	43.6	40.0	40.5		
領域別正答率	エネルギー	51.5	56.3	49.1	気体の性質	73.3	63.3	70.9	〈結果概況〉 ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。		
	粒子	60.3	56.4	57.8	水溶液の性質	60.6	55.0	56.3		〈課題と対策〉 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「リスニング」、「語形・語法の知識・理解」以外の内容は全国平均を上回った。 リスニング問題については、対話の内容を聞き、資料をもとに英語で答える問題では無解答率が35%を超えた。授業者と生徒、生徒と生徒が対話をしながら既習事項の復習や新出文法の習得を行う指導の充実を図る必要がある。また対話練習から読む活動、書く活動につなげる等、複数の領域を関連づける総合的な指導を行う必要がある。	
	生命	68.4	61.0	62.9	物質の状態変化	62.8	65.0	62.3			
					光の性質	51.5	56.3	49.1			

英語				佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	〈結果概要〉 ○教科の正答率は、活用は全国平均を上回ったものの基礎は下回った。 ○領域別正答率は、「書くこと」の領域のみ全国平均を上回った。
教科の正答率	全体	55.4	57.3	55.2	問題の内容別正答率	リスニング(内容理解)	86.0	88.3	90.9	〈課題と対策〉 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「リスニング」、「語形・語法の知識・理解」以外の内容は全国平均を上回った。 リスニング問題については、対話の内容を聞き、資料をもとに英語で答える問題では無解答率が35%を超えた。授業者と生徒、生徒と生徒が対話をしながら既習事項の復習や新出文法の習得を行う指導の充実を図る必要がある。また対話練習から読む活動、書く活動につなげる等、複数の領域を関連づける総合的な指導を行う必要がある。	
	基礎	55.6	58.6	56.4		リスニング(対話文の応答)	22.8	33.8	25.5		
	活用	54.8	53.9	52.3		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	96.0	90.0	96.7		
領域別正答率	聞くこと	55.6	61.3	58.9	語形・語法の知識・理解	57.9	66.3	65.0	〈結果概要〉 ○教科の正答率は、活用は全国平均を上回ったものの基礎は下回った。 ○領域別正答率は、「書くこと」の領域のみ全国平均を上回った。		
	読むこと	57.3	58.6	57.4	語彙の知識・理解	68.2	60.0	61.3		〈課題と対策〉 ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「リスニング」、「語形・語法の知識・理解」以外の内容は全国平均を上回った。 リスニング問題については、対話の内容を聞き、資料をもとに英語で答える問題では無解答率が35%を超えた。授業者と生徒、生徒と生徒が対話をしながら既習事項の復習や新出文法の習得を行う指導の充実を図る必要がある。また対話練習から読む活動、書く活動につなげる等、複数の領域を関連づける総合的な指導を行う必要がある。	
	書くこと	52.2	51.7	48.4	さまざまな英文の読み取り	54.1	55.0	53.9			
					長文の読み取り	54.4	53.8	51.4			
					単語の並べ替えによる英作文	48.3	51.3	47.1			
				場面に応じて書く英作文	38.3	37.5	32.1				
				3文以上の英作文	66.4	61.7	61.0				

令和3年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜中学校2年＞

国語				問題の内容別正答率				佐伯市 目標値 全国平均	佐伯市 目標値 全国平均	佐伯市 目標値 全国平均	
教科の正答率	全体	基礎	活用		発表の内容を聞き取る	漢字を読む	漢字を書く				
	64.9	59.1	62.0		63.0	61.7	65.2	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った</p> <p>○領域別正答率は、「書くこと」、「読むこと」の領域で全国平均を上回ったが、「話すこと・聞くこと」、「伝統的な言語文化」については上回ることができなかった。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、8つの領域の中で、5つの領域の正答率は全国平均を上回ったが、「発表の内容を聞き取る」「説明文の内容を読み取る」「街歩き探検について話し合う」領域については、全国平均を上回ることができなかった。特に、情報と情報の関係を理解するなど整理をする活動や、自分の考えが明確になるように話の構成を工夫する活動を充実させる必要がある。</p>			
領域別正答率				話すこと・聞くこと	55.0	55.0	57.3				
	74.0	55.0	59.7	書くこと	74.0	55.0	59.7				
	54.1	51.7	53.6	読むこと	54.1	51.7	53.9				
	57.2	57.5	59.5	伝統的な言語文化	57.2	57.5	59.5				
				文法・語句に関する知識	68.9	63.0	64.5				
				説明文の内容を読み取る	52.9	51.7	53.4				
				文学作品の内容を読み取る	55.4	51.7	53.9				
				街歩き探検について話し合う	47.0	48.3	49.4				
				文章を書く	74.0	55.0	59.7				

社会				問題の内容別正答率				佐伯市 目標値 全国平均	佐伯市 目標値 全国平均	佐伯市 目標値 全国平均	
教科の正答率	全体	基礎	活用		日本の地域的特色と地域区分	日本の諸地域	ヨーロッパ人とのお付き合いと全国統一				
	61.2	58.3	58.5		71.4	65.6	68.3	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎・活用ともに全国平均を上回った。</p> <p>○領域別正答率は、すべての領域で全国平均を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、すべての内容で全国平均を上回った。問題別では「日本の地形の特色」についての理解を問う問題で全国の正答率を11.3ポイント下回った。地形図の学習等において、地形の特色と土地利用を関連させて理解させる指導が必要になる。また、「徳川綱吉と新井白石の政治について、複数の資料に着目して、考察する」問題で全国の正答率を5.4ポイント下回った。複数の資料から情報を取り出し、比較・分類したりして、傾向をつかみ、表現する場面を意図的に設定していく必要がある。</p>			
領域別正答率				地理	68.8	62.7	65.0				
	63.1	60.7	59.9	歴史	53.7	54.0	52.1				
	56.8	52.8	55.3		67.8	63.3	63.7				
	68.8	62.7	65.0		44.3	47.8	44.3				
	61.2	58.3	58.5								
	63.1	60.7	59.9								
	56.8	52.8	55.3								
	68.8	62.7	65.0								
	53.7	54.0	52.1								

数学				問題の内容別正答率				佐伯市 目標値 全国平均	佐伯市 目標値 全国平均	佐伯市 目標値 全国平均	
教科の正答率	全体	基礎	活用		式の計算	連立方程式	1次関数				
	56.9	56.9	55.9		56.9	57.0	55.3	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。</p> <p>○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、すべての内容で全国平均を上回った。問題別では「具体的な事象について、与えられた数値に対応する答えを求める」問題で全国の正答率を3.2ポイント下回った。また、「事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明する」問題で全国の正答率を1.1ポイント、目標値を7.1ポイント下回った。具体的な問題解決に一次関数や方程式を活用し、事柄が成り立つ理由や根拠を明確にして数学的な表現を用いて説明する学習場面を設定し、数学の有用性を実感させる授業づくりが必要になる。</p>			
領域別正答率				数と式	51.9	52.1	50.1				
	60.7	59.8	59.6	関数	57.1	57.5	56.7				
	45.6	48.1	44.9		69.5	68.3	68.4				
	51.9	52.1	50.1	図形の性質	69.5	68.3	68.4				
	60.7	59.8	59.6	証明	63.3	61.7	62.8				
	45.6	48.1	44.9								
	51.9	52.1	50.1								
	60.7	59.8	59.6								
	45.6	48.1	44.9								

理科				問題の内容別正答率				佐伯市 目標値 全国平均	佐伯市 目標値 全国平均	佐伯市 目標値 全国平均	
教科の正答率	全体	基礎	活用		物質の成り立ち	化学変化	化学変化と物質の質量				
	64.7	58.5	60.6		72.1	62.5	66.1	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。</p> <p>○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に見ると、7つの内容全てで目標値、全国平均値を上回り、とても良好な結果となった。小問ごとに見ると、「化学変化前後の質量保存を証明するための実験方法の改善案を記述する問題」や、「肺炎になると息苦しくなる理由を分析して記述する問題」において無解答率が高く(22.2%、18.6%)、昨年に引き続き、根拠をもとに説明することへの課題が見られた。今後も、実験結果から考察を丁寧に行い、文章で記述したり説明したりすることや、仮説を基にした実験の構想を行うなどの活動を充実させていく必要がある。</p>			
領域別正答率				生物と細胞	77.4	70.0	71.7				
	65.9	60.2	62.1	動物のからだのつくりとはたらき	72.1	66.7	68.9				
	59.7	51.7	54.6	動物の分類	65.0	58.3	62.9				
	64.7	58.5	60.6	電流の性質	59.0	52.5	57.7				
	65.9	60.2	62.1								
	59.7	51.7	54.6								
	64.7	58.5	60.6								
	65.9	60.2	62.1								
	59.7	51.7	54.6								

英語				問題の内容別正答率				佐伯市 目標値 全国平均	佐伯市 目標値 全国平均	佐伯市 目標値 全国平均	
教科の正答率	全体	基礎	活用		リスニング(内容理解)	リスニング(対話文の応答)	リスニング(さまざまな英文の聞き取り)				
	47.8	50.9	46.9		74.9	76.7	75.8	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。</p> <p>○領域別正答率は、「読むこと」、「書くこと」の領域で全国平均値を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に見ると、10の内容のうち5つは目標値、全国平均値を上回ったが、「リスニング(内容理解)(さまざまな英文の読み取り)」、「語形・語法の知識・理解」、「長文の読み取り」、「単語の並べ替えによる英作文」は目標値を上回ることができなかった。特に、長文のメールを読み、その内容を踏まえて英文を完成させる問題については無解答率が高かった(56.0%)。まとまった英文を読んで概要や要点を把握し、書く活動につなげていく等の複数の領域を関連づける活動を充実させ、計画的に繰り返し指導していく必要がある。</p>			
領域別正答率				語形・語法の知識・理解	56.6	60.0	57.6				
	51.0	54.5	51.0	語彙の知識・理解	69.6	60.0	63.1				
	40.6	43.0	38.0	さまざまな英文の読み取り	41.9	43.8	41.1				
	55.8	58.9	55.9	長文の読み取り	39.9	48.8	41.9				
	49.5	52.1	49.1	単語の並べ替えによる英作文	43.2	50.0	44.0				
	37.1	41.1	34.4	場面に応じて書く英作文	16.1	25.0	15.7				
	55.8	58.9	55.9	3文以上の英作文	42.9	40.0	34.2				
	49.5	52.1	49.1								
	37.1	41.1	34.4								